

日本大学在學生に対する支援に関する声明

平成30年6月12日

桜神会 会長

赤瀬 朋秀



昨今、日本大学アメリカンフットボール部による重大な反則行為の問題に端を発した一連の騒動は、連日のマスコミ報道などにより衆目の知るところとなっている。この騒動の中で、現在就職活動をしている学生が、面接の際に「この問題をどのように思うか」などと問われるなど、就職活動そのものに対する影響がでているという声が新聞報道され、卒業生として非常に心が痛む事態にまで発展している。

確かに、報道を見る限りでは、大学側の対応に関して十分であるとは言い切れず、その余波が在學生にまで及んでいるということに対して、真摯に向き合っていただきたいと感じている。しかしながら、一方では、大学の責任を追及するより、在學生のために今我々ができることを実践し、後輩諸君のために卒業生が一致団結して学生を支援すべきことのほうが重要かつ先決であると考えられる。

ついでに、桜神会のメンバーにお願いしたいことは、就職面接などの際に日本大学の在學生に対し公平かつ適正な判断のもとに面接試験が行われるよう、各自の立場で尽力されたい。薬剤部門長、管理薬剤師、保険薬局の開設者におかれては、面接試験の際に本件に関する考えを問うことは避け、適正な面接試験を執り行うようお願いするものである。また、若い勤務薬剤師の諸兄においても、適正な面接試験が実施されるよう、事前に上司に対して相談するなど務められたい。

この声明は、日本大学出身ということ誇りに、我々卒業生が毅然と対応することを強く望むものであり、在學生、特に就職活動中の学生に対し、これ以上の不利益を被らないよう、事にあたられたく桜神会として強くお願いをするものである。また、日本大学他学部出身の同門に知り合いがいたら、同様のお願いをしていただきたく切に願うものである。今こそ、横のつながりを最大限に発揮し、在學生に対し最大限の支援にあたられたい。

以上、桜神会として本趣旨に則り声明を発表する。後輩のためにも是非ともお力添えをいただきたい。

以上